

## 第1回避難訓練の実施

### — 火災から安全に避難するために —



本校では、火災や地震など災害時の安全確保を目的として、学校で年間2回、寄宿舎で年間3回の避難訓練を計画していますが、今年度は、学校、寄宿舎ともに、第1回目に予定していた春の訓練が、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となったため、10月13日(火)に実施した学校の訓練は、約1年ぶりとなりました。

例年この時期は雨が多く、去年は台風19号により大きな

被害が出ていたことから、今年も天候が心配されましたが、幸いこの日は快晴に恵まれ、計画通りの内容を無事に行うことができました。

避難訓練の目標には、避難をするためのチームワークや避難の仕方そのものに関するものがありますが、ここ数年、続けて取り組んでいる内容の一つに、「避難をするときの身支度」があります。例えば、頭を守るためにヘルメットや防災頭巾をかぶったり、煙を吸い込まないようにハンカチやマスクを着けたりして移動すること



です。今回の訓練では、児童生徒も教員も、ほぼ全員がヘルメットや防災頭巾、マスクを身に着けて、校内から2階の駐車場までを移動することができました。

しかし、このような成果の一方で、いくつか見直さなければならない点も確認されました。その一つが、避難完了までにかかった時間です。

今回は、校内放送で「避難してください。」と伝えられてから、避難者確認の報告が完了するまで、過去の訓練に比べて2分ぐらい長くなってしまいました。前回の訓練から時間が空いたことや、今年度初めての避難訓練だったこと、また、雨上がりで避難路がぬかるんでいたことなど、いろいろな事が理由として考えられますが、延焼の火や煙から逃れるためには、短い時間で避難することは、とても大切です。今後は、より安全な防火体制を整えていくため、訓練の結果をしっかりと反省して、今回よりも早く安全な避難行動がとれるよう、全校で取り組んでいきたいと思ひます。